

## 1. 6 齋宮歴史博物館・いつきのみや歴史体験館の見学（国語分野）

### (1) 研究開発の課題（研究概要）

実際に日本の文学と関わりのある土地や建造物を訪れて、その風土に触れ、遺跡からの出土品や建造物の模型などを間近に見たり、また実際に平安時代の衣装の試着や、遊びを体験することを通して、日本の文学や文化に対する興味・関心を深める。

### (2) 研究開発の経緯

国語科のワークショップでは、一昨年には愛知県西尾市の「岩瀬文庫」、昨年は京都府宇治市「丸久小山園榎島工場」、「宇治平等院」、「源氏物語ミュージアム」を見学した。3学年で毎年異なる見学地を訪れることができるように、との考えから今年度は新たな見学地として、三重県多気郡の「齋宮歴史博物館」・「いつきのみや歴史体験館」を選定し、加えることとなった。

### (3) 研究開発の内容

#### ア 仮説（ねらい、目標）

本事業は、日本文化への関心や豊かな発想力・深い洞察力などの「総合人間力」を促すことができる。

#### イ 研究の内容・方法

対象生徒 全学年の希望者 32名  
 日時場所 8月18日(火)  
 齋宮歴史博物館  
 いつきのみや歴史体験館



十二単・直衣の試着体験

#### 実施内容 ワークショップ

齋宮歴史博物館

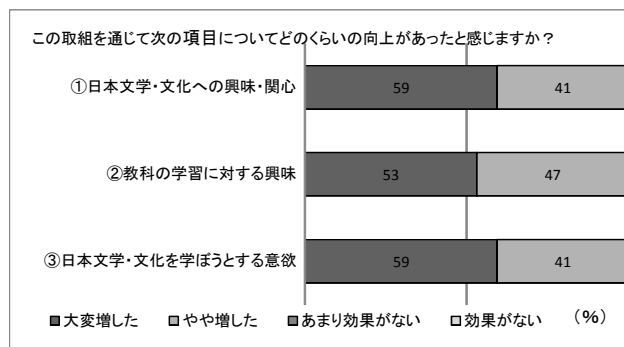
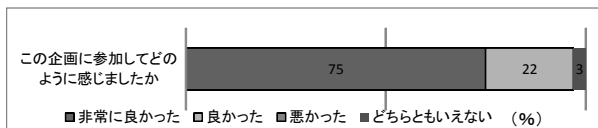
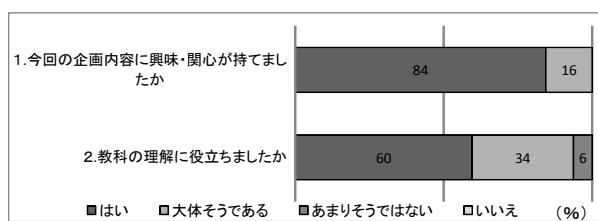
齋宮遺跡出土品、模型、資料の見学・

齋王群行の様子を描いたビデオ鑑賞

いつきのみや歴史体験館

十二単・直衣の試着体験・双六、蹴鞠などの体験

#### ウ 検証（成果と反省）



#### 生徒の感想から

- ・ 古典や日本史で学んだもの実際に触れて、習ったことが知識でなく経験として記憶できた。
- ・ 「齋王」についての映像を見たことで、当時の儀式の様子、旅の有様がよくわかった。
- ・ もう少し時間をかけて、じっくりと見学できたらよかった。

アンケート結果や生徒の感想から、ほとんどの生徒にとって、日本文学や文化に対する関心を高めるとともに、今後の学習意欲向上にもつながる内容であったと言える。教材作品からはわかりにくい「齋王」について理解を深める良い機会となった。また、遊びや衣装についても実物を見知る貴重な体験となった。来年度も体験要素の含まれた見学を計画したいと考えている。